

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査及び県調査の武雄市結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。今年度も保護者・地域住民の皆様に学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部であり、また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であります。この結果を受け指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思います。

児童、生徒の学力の向上には、学校と家庭や地域との連携が必要です。今回学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は小学校6年生、中学校3年生は全国学習状況調査の結果です。（昨年、一昨年の結果は佐賀県小・中学校学習状況調査の結果を含む）全国学力・学習状況調査は、知識・技能等と活用する力等を一体的に問う問題の調査となっています。

各学校のホームページには、学校ごとの分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますのであわせてご覧ください。

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5年時	6年時	5年時	6年時
H28入学 現6年生	72.3		61.9	
	(1.14)		(1.19)	
R3 正答率の全国比		73.0		69.0
		(1.12)		(1.0)
		1.12		0.98

◎ 5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段( )は県平均を1としての比較。

◎ 「令和3年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

国語・5年時と6年時の推移をみると、2年連続で全国、佐賀県平均正答率を共に上回っており、全体的に国語力は高い。

- ・ 2問を除く全ての問題で全国、佐賀県平均正答率を上回っている。
- ・ 目的や意図に応じて資料を使い、自分の言葉で表現する問題が全国、佐賀県平均を下回っている。
- ・ 文章の要約や、言語に関する事項は全国、佐賀県平均正答率を10%以上上回っている。

算数・5年時と比較して6年時では、県平均と同じであるが、全国平均を下回っている。

- ・ 基礎的な内容は概ねできているものの、問われていることを整理して考え、資料を読み取ることや、データを2次元の表に整理する問題で、全国、佐賀県平均正答率を下回っている。
- ・ 公式等は理解できている一方で、公式を使って発展的な問題の正答率は低い傾向にある。
- ・ 道のり・速さ・時間に関する問題の正答率は高い。

意識調査

- ・ 学習習慣・生活習慣・算数への意欲関心は全国平均に比べるとやや低いが、国語への意欲関心は高い。
- ・ 学習習慣の「自分で計画を立てて勉強していますか」という質問に対しては、「よくしている」と「ときどきしている」を合わせた結果が、全国、佐賀県平均よりも約20%下回っている。
- ・ 「自分にはよいところがある」に対して、「あてはまる」と答えた児童は60%で、全国、佐賀県平均よりもかなり高いが、「どちらかといえばあてはまる」を加えた数は全国、佐賀県平均よりも若干低い。
- ・ 自分のよいところや将来の夢があるかどうかを問う項目で、肯定的に回答している児童の割合は全国・県平均共に上回っており、自己有用感が高い。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

(1) 自分の考えをわかりやすく伝える力をつける。

- ・ 読み取りだけでなく、文章から自身がどう思ったか、感じたかなど考えたことを記述や発表する場面を作り、友だちと話し合うことで、考えを広げたり深めたりする経験を多く積ませる。

(2) 資料を読み取ったり、活用したりする力をつける。

- ・算数科だけでなく、多くの教科で資料やグラフを取り入れ、必要な情報を読み取る場を設定する。

(3) 思考・判断・表現力と語彙力を向上させる。

- ・国語科を中心に単元を貫く言語活動の充実を図るとともに、学校図書館の利用を取り入れた単元構成を工夫することで、読書活動を重視した授業を仕組む。
- ・キーワードを設けた授業の振り返りやテーマ日記など書く活動を継続して行う。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

家庭学習の充実に取り組む

- ・タブレットドリルを活用して、課題の見られる問題や、下学年の問題にも取り組ませ、復習させる。
- ・復習だけでなく予習的内容の宿題に取り組ませたり決まった時間いっぱい学習できるように自分の計画を立てて勉強ができるように学習計画表を活用させたりすることで、児童の学習意欲及び学習習慣の定着につなげる。
- ・「学力向上だより」を通して、現状を保護者に伝え、保護者の意見も聞きながら双方向の情報交換を行っていく。